

## 横浜市大との連携によるCELプロジェクト

横浜国立大学では平成14年度に情報通信工学と環境科学の2件の21世紀COEプログラムが採択されました。一方、横浜国立大学では平成15年度に、生命科学の21世紀COEプログラムが採択され、これら3件のCOEプログラムは、横浜という地に、世界に比肩しうる、また世界を先導する研究グループが、21世紀をリードする学問分野である情報通信工学、環境科学、生命科学のそれぞれに存在するという証となりました。

この先行的な研究グループの存在をさらに生かし、研究分野の大きな発展を画することは、両大学の使命でもあり、また絶好の機会でもあります。CELプロジェクトは、これら情報通信(Communication)、環境(Environment)、生命科学(Life science)を基幹に、両大学の研究連携を

密にすることで、様々な周辺関連分野の、そして世界に新たに発信できる研究成果をインキュベートすることを目指し、企画されました。

2004年度は、まず、これら21世紀COEプログラム間の交流ならびにこうした先端的・先導的な研究グループの存在を、市民、県民と共有してもらうため、それぞれのCOEリーダーによる解説講演とパネル展示を中心とした「高校生と市民のためのCEL・ジョイント・シンポジウム」を横浜情報文化ホールで開催しました。開会にあたり、中田宏横浜市長より、両大学の積極的交流に対し、力強い檄をいただきました。開催日は、高校生が参加できるよう、夏休み中の2004年8月30日に設定しました。横浜情報文化ホールの定員を越える260名超の参加者の中、市民・高校生は



「高校生と市民のためのCEL・ジョイント・シンポジウム」

上段：(左) 飯田横浜国立大学学長、(中央) 中田横浜市長、(右) 小川横浜国立大学学長  
 中断：(左) パネル展示と質問する高校生、企業関係者、(右) シンポジウム会場点景  
 下段：(左) 大野横浜国立大学COEリーダー、(中央) 浦野横浜国立大学COEリーダー、(右) 河野横浜国立大学COEリーダー